

平成 28 年度 第 2 回 ファシリテーター養成研修 報告書

1. 概要

多職種間の相互理解や合意形成の支援手法について学び、会議や研修時のグループワーク等においてファシリテーターを担えるようになる。(第 2 回)

2. 研修内容

研修名	ファシリテーター養成研修 (第 2 回)
テーマ	会議や研修において役割を期待されているファシリテーターの養成
日時	平成 28 年 12 月 3 日 木曜日 午後 1 時 00 分から午後 5 時 00 分
場所	八王子労政会館 第 1 会議室
講師	特定非営利活動法人日本地域福祉研究所理事 主任研究員 國光登志子 氏
参加者	高齢者あんしん相談センター職員 4 名 (3 事業所) 居宅介護支援事業所職員 27 名 (23 事業所) 合計 31 名

3. 参加者アンケート調査 結果 (回収数 28 名)

(1) ファシリテーターの役割についての理解は深まりましたか？

項目	回答	率
① 深まった	19 名	67.9%
② やや深まった	7 名	25.0%
③ 深まっていない	0 名	0.0%
無記載	2 名	7.1%

「① 深まった」を選んだ理由

- ・ 介入のタイミング、方法がなんとなくわかるようになりました。
- ・ 実践でできた。
- ・ 事例検討で役割分担をすることで、それぞれの役割がわかってきたこと、ファシリテーターの介入の場面がこういう時にすれば良いのだというタイミングが多少わかったこと。
- ・ 事例提供者が踏み込んだ考えにスキルアップできるようにルールを引く役割ということに気づいた。
- ・ 先週よりも理解は深まったと思うが、難しさも感じています。
- ・ 全体の流れを掴み、一人ひとりの発言を確認したり記録者の筆の運びなども考慮して進めていく必要がある。
- ・ テーマや課題等に焦点を当てて進めていくタイミングをしっかりと考えて行いたいと思う。
- ・ テーマを決める→ニーズ→目標→方法・手段の方法が良かった。この流れについてグループのメンバー各々の理解力があり内容が深まりました。
- ・ 話し合いを重ねていくと、脱線していく場面があり、修正役が必要だと思った。
- ・ 皆の意見がたくさん出て勉強になった。

「② やや深まった」を選んだ理由

- ・ グループ全体での理解はまだ。
- ・ 事例検討で実際に行った。
- ・ 振り返りや他者評価を踏まえて、役割について考えることができた。

無選択

- ・ 人によってはいきなり演習形式での研修は向かないのではないか？根本的な役割の理解が出来てないメンバーが強い発言を持ってグループを引っ張ってしまうと、他の参加者の学びにならないと思う。
- ・ ファシリテーターの役割の理解はワークを重ねるに連れ難しくなってきました。事前に読み込みし、役割を務めたいと思いました。

(2) 時間の流れや進行についてはいかがでしたか？

項 目	回 答	率
① ちょうどよかった	17 名	60.7%
② 早かった	10 名	35.7%
③ 遅かった	0 名	0%
無記載	1 名	3.6%

(3) グループワークではどのような役割でしたか？

それぞれの役割を行ってみて、事例検討会におけるファシリテーターの役割が理解できましたか？

①ファシリテーター

- ・ 徐々にできてきた。
- ・ 大体理解できた。
- ・ メンバーの力量が高かったのでやりやすかった。モチベーションを上げることが出来た。自分が脱線の修復をすることが難しかった。
- ・ 一人ひとりの発言を全体が理解しているか再確認をしたり、役割を尊重しテーマを常に意識していること。

③書記

- ・ 司会者のまとめ方にフォローあり、書記も助かりました。
- ・ 多少理解できた。
- ・ 冷静に検討会を見つめることが大切だと思う。

- ・ 分かりやすく書きまとめるのは難しいと思いますが、大切な役割だと思いますので、重ねて経験を積んでいきたいと思っています。

④司会者

- ・ 司会とファシリテーターがうまく機能すると話し合いがスムーズになり深まると感じました
- ・ 楽しくワークをしながら理解できました。
- ・ 出来ました。
- ・ ポイントが難しかった。

⑤GW メンバー

- ・ 資料の事前配布がファシリテーターには必要だと思いました。担当者会議も事前にテーマを伝える時もあります。良い意見を引き出し活かせるような事前段取りも対人援助ですね。
- ・ 少々
- ・ 少しずつ理解が進んでいるように思います。
- ・ テーマを決めるところから自分の中でポイントが掴みきれなかった。
- ・ できたと思います。
- ・ 討議中のずれ等を見直すきっかけを声がけしてもらった。次回はチャンスがあれば自分がファシリテーターの役を担ってみたい。
- ・ ファシリテーター自身が役割をきちんと理解しないと全く進行しないということがよくわかった。司会を兼ねる、自分の意見ばかり、他者の発言を遮る、否定する等、ワンマンに進められてしまうと発言の意欲もなくなるし、まとまりもつかないということを体感することが出来た。自身が日常業務で行う際には十分気をつけていきたいと思う。
- ・ ファシリテーターの役割が徐々に理解できてきた為か、振り返りに介入の場面(方法)を客観的に見るできるようになった。

(5) 先生に質問・確認したいことがありますか？

- ・ 「テーマ」について先生の想いをもう少しお聞きしたかった。
- ・ 各々がうまく発言したり進行している時にも何か介入はした方がいいのでしょうか。
- ・ 黒板に書かれた「早くテーマを決める、手段・方法等」についてメンバーの中でずれを感じた。あくまでもサービス等の手法にとらわれない事を伝えたかったのでは？ インフォーマルなサービスにも広げて考えてみては？ と思いました。
- ・ 先生に1グループに参加していただき、ファシリテーターをやってもらい、見学したい。
- ・ ファシリテーターの演習は、参加者が協力的なので、実践とは少し違うと思います。経験したことを活かしていきけるよう頑張ります。

(6) その他ご意見等、ご自由にお書きください

- ・ この研修を練習の場としてファシリテーターを身に染み込ませたいと思います。
- ・ 実践しないとわからないと感じました。
- ・ 事例に対してグループで各テーマを決めて進行することで、本人からのテーマの解決に直接的ではなく違う面からの意見がもらえるという良い点を知りました。
- ・ 事例のボリュームがあったので、読み込み確認をする時間がもう少し欲しかった。
- ・ 先生の授業をお聞きすることができて勉強になりました。
- ・ タイムスケジュールがどこかに提示されているとよい。進め方等も同様にレジユメがあるとよい。
- ・ タイムスケジュール表があった方が、グループワークがしやすかったと思う。
- ・ タイムスケジュールをホワイトボードに書いていただきたいと思います。
- ・ テーマの話し合いの間に1度情報の最収集ができるとういと感じた。
- ・ できれば一事例をしっかり検討したほうがいいのではないかと思います。本日のタイムスケジュールのレジユメも作ってほしかった。
- ・ ファシリテーターの介入により検討会がまとまる、結論に向かって進む(流れがスムーズになる)ことができるように、場の全体・個々を見る力が必須であると今更のように感じました。
- ・ やはり具体的に何度も試して行うことが実践に繋がるのだと思いました。



